



新人の目、市民の目を大切に！

佐伯かずみ

さいたま市議会議員（1期目）NO.30



自分らしく暮らせるまちに！

老若男女、障がい者、LGBT マイノリティ、外国籍にかかわらず、誰もが参画できる、元気なチームさいたま市を目指します。

コロナ対策：受診、自宅療養、第6波に備えて

Q:大変！発熱！コロナかインフルエンザか風邪かわからない？？？

A:「埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム」から、発熱などがある場合に、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療ができる医療機関を検索できます。

事前に必ずお電話をして確認をしてください。

<https://flu-search.pref.saitama.lg.jp>



Q:病院で新型コロナウイルス陽性と判定されたら・・・

A:保健所から電話がありますのでお待ちください。体調等の聞き取りをし、入院、ホテル療養、自宅療養の判断をします。

Q:自宅療養となったらどうするの？

A: 1 毎日の健康観察があります。以下の①か②の方法があります。

- ① スマートフォンによる入力や自動架電による健康観察
- ② 保健所職員の電話による健康観察

2 パルスオキシメーターと「自宅療養の手引き」が郵送されます。

自宅療養の手引きはホームページにもあります。→

<https://www.city.saitama.jp/002/001/008/006/013/004/p078950.html>

3 ご家族全員が陽性や单身の方、ネットなどで食料を調達できない方はご相談ください。
(食料配送があります)

Q:自宅療養で具合が悪くなったらどうしよう!?

A:症状(発熱、咳、痰、倦怠感など)が悪化した場合、すぐに保健所に連絡してください。

連絡先:さいたま市保健所疾病予防対策課 電話番号 048-840-2204

※急な体調の悪化等、緊急の場合は、迷わず救急車を要請してください。

Q:第6波に備えて自宅療養者向けの対応は大丈夫かしら・・・。

A:自宅療養者のご自宅に訪問する訪問看護ステーションと連携を強化します(補助金制度を創設しました)。また酸素濃縮器を20台確保し、医師の診療の上、必要と判断される自宅療養者に在宅酸素が提供できる体制を整えています。

Q:3回目のワクチンは打つの?いつから?

A:まずは医療従事者から、次に2回目を接種してから8か月経過された方(65才以上)から。

令和3年1月以降接種券を発送予定。

65歳未満の方は2回目接種8か月後から順次送付予定です。

あなたの声をお聞かせください!

佐伯かずみ公式 LINE から

市政について、あなたが普段もやもやしていること、子育て・介護・生活の悩み、お困りごと事はありませんか。

それは個人の問題でなく社会の問題です。

あなたの声を聞かせてください。

「いつもいち早く情報が入り安心できる」、「わからないこともすぐに聞ける」、などのご意見をいただいています。

佐伯かずみ LINE では市の情報やコロナ情報、私の活動などをお伝えしています。上のQRコードからぜひご登録ください。

さて、佐伯かずみは、バス便が減ってしまい移動手段をどう確保するか、地域のみなさんと勉強会を始めました。ご興味のある方はご連絡くださいね。

一緒に考えて、一緒に住みやすい街を作っていきませんか。



スマホ相談会開催

11月7日(日)9時~11時

LINEができない、検索の仕方がわからない、変なお知らせが出て来て困る、などなど。

お気軽に佐伯かずみ事務所へいらしてくださいね。

コロナ感染予防のためお一人30分程度とさせていただきます。

